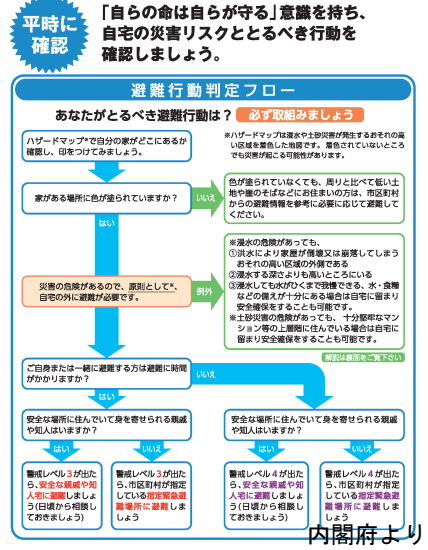


感染症蔓延下における大規模氾濫からの避難について 大阪府域の首長が意見交換を実施！

【令和2年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（大阪府域）を開催】



台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に
「避難行動判定フロー」を確認しましょう



避難対策に関する意見交換

◆5市町の首長による感染症蔓延下における市町の避難体制の報告のあと、根本教授を交えて避難対策について意見交換を行いました。

○新型コロナウイルス感染症蔓延下における各市町の避難体制（主な取り組み）

- ・高槻市：避難所資機材準備、職員体制確保（マニュアル作成等）、市民への分散避難等の広報。
- ・枚方市：市民への事前周知、避難所での感染予防、自宅療養者等の避難手順整理。
- ・門真市：マニュアル作成、民間と資機材・避難所提供の協定締結、SNSに加え従来手段での周知。
- ・摂津市：分散避難の提供の協定締結、防災リーダーの育成。
- ・島本町：マニュアル作成、避難所周知、民間と避難所資機材準備、実際の小規模災害での避難所運営試行。

○意見交換

- ・避難対応を担う行政職員が疲弊しない対策（人の運用など）が必要。
- ・在宅避難準備（備蓄等）の啓発により、分散避難の実現性が高まる。
- ・行政で不足する部分を自助共助で補う自治会組織の強化や防災士等の養成（支援制度等）が重要。
- ・今ある施設、資機材、組織等を活用して避難者の健康確保を考える。

新型コロナウイルス感染症蔓延下における避難対策について

◆日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授から、自ら経験された被災地の状況や実験・訓練を踏まえ、避難所運営の留意点について講演頂きました。

○避難所運営の主な留意点

- ・避難所や車中泊での災害関連疾患の防止。
- ・TKB（トイレ、キッチン、ベッド）の整備。
- ・各段階での準備・訓練・検証。
- ・運営がパンクしないための優先順位設定、協定活用、人材投入。



淀川水害協の概要説明と今年度の重点的な取組の確認

◆協議会の趣旨や活動内容を共有し、近年の水害による被災状況を踏まえ、本年度は逃げ遅れゼロにむけて、要配慮者の避難対応を重点的に取り組むことを確認しました。

◆開催概要

日時：令和2年7月17日（金）13：30～15：00
場所：国民會館 大ホール
参加者：19機関から43名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

